

# 土木情報化に伴う施工日々管理システム

企業 / 株式会社コイシ

研究者 / 打浪 清一（九州工業大学 情報工学部 電子情報工学科 教授）

吉田 香（同 助手）



試作システム外観

土木ではCALS/ECにのっとり電子納品が主流となっている。そこで、その電子データ（CADデータ）と現場から得られるデータを有効に活用する方法を考案した。まず、電子データから工事計画の3次元データを作成する（平成12年度に本事業で開発した土木測量・施工支援システム）。次に、現場に設置されているビデオ映像から地形データを取得する。それらのデータを重畳表示することで、工事現場の日々管理を実現するシステムを構築する。今回試作したシステムでは、ビデオ画像から地形データを取得する際の精度に問題を残した。しかし、このことからビデオ画像と3Dの複合型システムという新たな着想を得た。これは、ビデオ画像から座標値を取得することなく管理を行うシステムである。今後は、本課題で試作したシステムの管理機能の強化と、複合型システムの開発・統合を行う。